

地域スポーツ／部活動の未来を作る
運動部活動指導士
養成講習会



第13回
東京

2025/9/22(月)-9/23(火・祝)
9:00-18:00



会場

オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区

主催



公益財団法人
日本スポーツクラブ協会



後援

スポーツ庁 (申請中)

スポーツくじ



(スポーツ振興くじ助成事業として実施)



お申込み方法

講習会管理サイト
マナブルからお申し
込みください。



受講料＋資格認定料

一般 30,000円

会員 28,000円

定員 30名

先着30名様限定！

問合せ info@jsca21.or.jp



詳細はHPをご覧ください。

 www.jsca21.or.jp

×

「走り出した中学校運動部活動の地域移行」への対応

令和5年4月から懸案の中学校運動部活動の地域移行が始まりました。これまでの学校運動部活動のシステムが根底から変わる「部活動の幕末」の到来とも言えます。

本協会では、平成31年2月から部活動における指導者資格制度と養成講習会について準備を進め、令和3年度末から学校現場が求める即戦力の運動部活動指導者の育成を目指して「学校運動部活動指導士」養成講習会を開始しました。この2年間に7回の講習会を開講しており、今年度の8回から10回の開催はスポーツ振興くじ助成金の補助を受けて実施します。教育新聞の抜粋、理事の抱負を紹介しします。

野川春夫理事長

これまでの学校部活動は教育課程外の学校教育活動として位置付けられていましたので、地域スポーツクラブ指導者にとっては思春期年代の中学生・高校生に対する系統的な知識・指導法等の絶対量が不足していると言っても過言ではありません。中学生年代は、身体的にも精神的にも発育発達については個人差が大きく、性差を踏まえた指導や対応が求められます。スポーツや運動に関しては、単一種目追求型もあれば多種目追求型もあります。中学生年代は、自主的・自律的にスポーツ・身体活動に取り組む「アクティブライフスタイル」の形成に重要な時期です。この時期はいるいるなスポーツに親しめるように初級指導者の良否がカギとなります。したがって、本協会が目指す部活動指導者は、初級指導者に長け、複数種目の指導を意欲的にチャレンジする人材を養成します。



桑田健秀理事

「ステークホルダーのマネジメント」担当

戦後の日本スポーツ界を底辺で支えてきた学校部活動が次のステージにステップアップしようとしています。学校だけではなく地域の専門家や有識者たちと協働してスポーツ振興のみならず、地域における新たなスポーツの価値創造、感動の共有化を軸に地域振興・地域コミュニティの再生に挑戦していくことになります。地域によっては課題が異なり不安や心配も大きいと思いますが、個々の特色を生かし、ジュニア期の子供達が安心・安全かつ継続的に良質な指導を享受できる環境づくりが重要なテーマです。そのためには、指導者の育成と地域スポーツをマネジメントできる人材およびその受け皿組織の育成が喫緊の課題です。全国各地で活動されている多くの皆様と連携して、新たな地域スポーツの構築の夢にむけてスタートしましょう。



山口泰雄理事

「スポーツの社会化・ドロップアウト」担当

部活動は、少子化や教員の働き方改革という背景から、外部指導者制度や部活動指導員制度の導入、ガイドラインによる休養日（平日・週末に各1日以上）の設定などにより、地域移行が試行されてきました。しかし、外部指導者による部活動運営は指導内容の質の確保や安全・安心なスポーツ活動の担保など諸課題があり、スポーツ庁（2022年）は「学校部活動及び新たな地域スポーツクラブ活動のあり方等に関する総合的なガイドライン」を策定・公表しました。具体的には、公立中学校における部活動を段階的に地域移行し、2023年度から25年度を改革推進期間に位置づけています。部活動の地域移行においては、柔軟な発想と科学的知見を備えた質の高い指導者の確保と、地域の受け皿を確保できるシステム構築が重要であり、ステークホルダーによる協議とヴィジョンづくりが課題です。その意味でも、日本スポーツクラブ協会による運動部活動指導者の養成は大きなミッションがあります。



野田哲由理事

「安全確保と成長期におけるケア等の救急処置」担当

中学生年代は身体的な発育発達の個人差が大きく、成長痛などのスポーツ障害が一番起こりやすい時期です。その理由のひとつは、骨に成長軟骨が残っていて、繰り返しの動作（オーバーユース）や強い負荷に耐えられないからです。また、熱中症にも罹りやすいことから深部体温を下げる正しい応急処置法に通達しておくことが部活動指導者に求められます。部活動の地域移行にともない、地域の事情によって様々な指導者が中学生を指導することになるでしょうが、本協会の学校運動部活動指導士養成講習会が最重要視する「生徒ファースト」の理念を持った指導を行うことを望みます。



メディア

（第1）種別掲載期間

日本教育新聞

人づくり国づくり 913

野川 春夫 公益財団法人日本スポーツクラブ協会理事長

小・中学生に複数種目の体験を

「部活動は地域スポーツクラブで」

元オリンピック日本代表選手 桑田 健秀さん

部活は地域スポーツクラブで

出典：日本教育新聞
2024年1月1日
2024年4月1日



いじめ防止

教職あいうえお

校長・教員・教員

日本教育新聞 2024年（令和6年）4月1日

人づくり国づくり 925

部活は地域スポーツクラブで

元オリンピック日本代表選手 桑田 健秀さん

部活は地域スポーツクラブで

